

こんにちは 山田耕平 です

2016.11.3 No.252 外環特集号

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

http://yamadakohei.jp



1. 3兆円から1.6兆円に…膨らみ続ける事業費

外環道計画に莫大な税金投入

**当初の事業費から3千億円増
最終的には2兆円超えも…**

不要不急の大型開発、東京外郭環状道路（以下、外環）の総事業費が膨れ上がっています。当初、1兆2820億円とされた事業費は、既に約3155億円増加し、約1兆6千億円弱となっています。

事業費増額の要因は、残土処理や大深度地下トンネル地中拡幅部の構造変更、セグメント・床版構造の変更等、多岐に亘ります。外環は大深度地下を使用し大規模構造物を造る世界初の難工事となり、事業費はさらに増額する見通しです。ゼネコン関係者は、最終的には総事業費が2兆円になる可能性も示しています。



直径16.1メートルのシールドマシン。杉並区内大深度地下を掘削するもの。朝日新聞2016年9月15日付けより。

今後、総事業費がさらに膨れ上がる可能性については、国も認めており、事業費の大半は税金で支払われることになり

交通量は減少、費用対効果も低下

外環道は、道路を新たに作る際の費用対効果、費用便益比（B/C）が毎回下がり続けている状況です。社会全体の交通量の減少傾向によるものですが、今後、事業費増額による影響も確実です。

外環道本線の進捗状況は？

■大泉JCT部分

本線トンネルのシールドマシンが発進するための立坑（縦穴）の工事及び本体との連結路（ランプ）の橋梁工を施工。また、本線工事に伴う準備工事として工事車両が通行するための道路等の改良工（函渠化）等を施工。

■東名JCT部分

本線トンネルのシールドマシンが発進するための立坑（縦穴）の工事が完成。また、掘削のための施工基地の整備等、準備工事（ヤード整備等）の施工。

※平成28年10月時点



政官財の癒着の構図も

外環道工事に絡む政官財の癒着の構図も浮き彫りになっています。しんぶん赤旗日曜版（7月3日付け）に詳細。

費用便益比（B/C）はさらに引き下がる見通しであり、外環道そのものの必要性が問われる事態です。

**不要不急の巨額公共事業
税金の使い方の転換を**

外環道は住宅街の直下・大深度地下を使用する工事であり、地下水枯渇や大気汚染、地上の住宅街等への影響等が懸念されています。

自然環境や住環境に与える影響を顧みず、工事を強行することは許されません。

不要不急の大型公共事業を中止し、税金の使い方を転換することが必要です。

家屋調査で終わらせず地盤変動調査等の実施を

家屋調査の概要

■調査に要する時間

3時間～4時間

■調査内容

建物内外で既に存在しているクラック（ひび割れ）、隙間、よじれ、壁面の浮き等々の調査を実施する。



家屋内壁面の調査



家屋の基礎高の測量

工事との因果関係を明らかにすべき

現在、外環道沿線住宅の家屋調査が行なわれています。杉並区内は沿線地域を4地域に区割りし、4事業者が調査を実施している状況です。

当初、国は「外環道は地下40メートルの大深度地下を使用するため、地上部への影響は無い」と強弁していましたが、その説明を一転。「万が一に問題が発生した時のため」と地上部分の大規模な家屋調査の必要性を示しました。国自らが問題発生の可能性を意味しており、重大な問題です。

自宅等で家屋調査を実施 地盤変動の調査は必要不可欠

私の自宅・実家は外環道沿線にあり、家屋調査に立ち会いました。家屋調査は現況の状態（特に、既に存在するひび割れ、隙間等）を写真撮影し、今後、家屋への問題が発生した際の証明とするものです。一方、家屋調査は短時間で行なわれ、調査範囲が目視可能な部分に限られる等、正確性に課題があります。また、家屋に問題が発生した際「工事に起因するものなのか」等、因果関係を証明することが困難です。

家屋調査と併せて地盤変動等の調査は必要不可欠です。計画沿線住民からは地盤変動に関する調査等の要望も行なわれていますが、国は後ろ向き姿勢であり、調査実施等を約束していません。

住民の声に応え最大限の配慮を

他の地域で実施されている道路事業では、地域住民の要望に応じて、地盤変動調査や問題発生時の補償の明確化、透明性の確保、住民と事業者の意見交換の場の設定など、様々な取り組みが行なわれています。国は、住民の要望に真摯に向き合うべきです。

外環道本線・家屋調査のレポートをホームページに掲載しています。

外環の2話し合いの会 一年以上も開催せず…

「外環の2」話し合いの会が一年以上も未開催という異常事態となっています。

この間、杉並区では東京都主催で「外環の2」に関する話し合いの会が実施されており、今後の事業の必要性の有無等について、住民・行政間での協議を行なっています。これまで、2011年6月から4カ月に一度のペースで開催され、既に14回開催されてきました。

しかし、昨年2015年10月27日（14回）を最後に、全く開催されていません。主催する東京都からも未開催の説明は行なわれておらず、極めて杜撰な進行管理であり問題です。

今週の一コマ

小学校の防災イベントで宿泊訓練

地元の小学校で「おやじの会」のみなさんが主催する防災イベント（学校内での宿泊訓練）に参加しました。この防災イベントは大規模震災時を想定し、学校内（体育館）での宿泊や校庭での炊き出し体験等、とても実践的なものです。私も消防団員として、応急救命（AEDの使用法・心臓マッサージの方法）等の講習を行ないました。

私も毎年参加していますが宿泊は初体験。寝る際には、あちこちで聞こえるイビキが多少気になりましたが、グッスリ眠ることが出来ました。しかし、宿泊が長期化すれば大変であることも実感。重要な体験となりました。



ツナ缶を使用した簡易ランプを作成。ノンオイルは×です。